

シンポジウム

HALL A：丸ビルホール 7F

ワークショップ

HALL B：丸ビルコンファレンススクエア 8F

[3月4日\(火\)](#)[3月5日\(水\)](#)[3月6日\(木\)](#)[3月7日\(金\)](#)[3月4日\(火\)](#)[3月5日\(水\)](#)[3月6日\(木\)](#)[3月7日\(金\)](#)

シンポジウム (HALL A：丸ビルホール 7F)

3月4日 (火)

9:00-9:05	主催者挨拶	A001
9:05-9:10	開会ビデオメッセージ 石破茂 内閣総理大臣	A010
9:10-9:20	開会挨拶 加藤勝信 財務大臣兼内閣府特命担当大臣（金融）	A020
9:30-10:20	金融庁パネル 若者よ大志を抱け ～経験者から学ぶグローバル起業 横川毅 Alpaca 共同創業者 CEO 瀧川永遠希 Outerport CEO 長谷川潤 Opn Holdings Co., Ltd. Chief Executive Officer モデレーター： 稲田史子 ビー・インフォマティカ 代表取締役 概要：海外での起業経験を持つ日本人起業家たちが、グローバルでビジネスを展開することの意義ややりがい、課題などを共有し、起業を考える若者に海外挑戦を促す。	A030
10:30-10:50	フィンテック協会の Asia FinTech Alliance(AFA)加盟に関する調印式 沖田貴史 Fintech 協会 代表理事会長 ナッジ代表取締役 ツァイ・ジャク リーン 台湾フィンテック協会 (TFTA) 名誉会長 アジアフィンテック連盟 (AFA) 会長 ホン・ドンピョ 韓国フィンテック産業協会 海外進出推進委員長 落合孝文 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業プロトタイプ政策研究所 所長・シニアパートナー弁護士 スマートガバナンス代表取締役共同創業者 概要：AFA 会長からのウェルカムメッセージ及び AFA の紹介	A040
11:00-11:50	パネル “真のマネタイズ”を実現する金融・保険と官民連携の新たな挑戦 柳瀬護 金融庁総合政策局審議官 上ノ山信宏 みずほフィナンシャルグループ 執行役 グループ CHRO 兼グループ CDO 二見通 アフラック生命保険取締役専務執行役員・CTO（チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー）・CDIO(チーフ・デジタル・インフォメーション・オフィサー) 政井貴子 SBI 金融経済研究所 取締役 理事長 モデレーター： 小川恵子 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング EY Japan FSO（金融事業部）リーダー パートナー 概要：金融・保険は、個々の顧客へのサービスと同時に、社会全体の活動や仕組みが安全かつスムーズに動くための潤滑油としての役割も担っている。短期的なマネタイズだけでなく、顧客価値の最大化や社会貢献と両立させる長期・持続的な真の意味での収益化（真のマネタイズ）は、まさに金融・保険の目指すビジョン・ミッションと合致する。その実現のために生成 AI などの次世代フィンテックはどのように活用されるべきか、それをサポートする官民連携はどうあるべきか、議論する。	A050
12:00-12:30	デモステージ PKSHA AI による未来の人材採用が始まる：PKSHA の AI 採用エージェント 大野紗和子 PKSHA Technology 社長室室長 概要：人手不足のなか、企業の採用は難しさを増しています。金融業界でも、優秀な人材の確保は重要課題です。そこで、わたしたち PKSHA Technology は、採用プロセスの効率や精度を、AI の力で高める総合ソリューションをご提案します。書類選考や面接を複数の AI SaaS で支援し、採用にかかわる社員の生産性と経験値を高め、候補者の体験も向上させることで、より良い人材の確保を実現します。 NIUM：簡略化・加速化された Nium の優位性について 瓶子昌泰 NIUM Japan 代表取締役 概要：Nium がどのようにグローバル決済を変革するかについてお話しします。このデモでは、シームレスなクロスボーダー取	A060

	引、多通貨決済、および世界中の企業のためのリアルタイムの金融ソリューションを可能にする当社の強力なプラットフォームを紹介します。グローバルな商取引を簡素化し、成長を促進し、現代の金融業務にスピード、セキュリティ、スケーラビリティを提供する方法をご覧ください。 JPYC：なぜスタートアップが挑むのか—JPYC が拓くステーブルコイン金融革命 岡部典孝 JPYC 代表取締役 概要：世界のステーブルコインは分散型金融（DeFi）を中心に発展し、オンチェーンの透明性・即時性・グローバル性を最大限に活用しています。しかし、日本では銀行や信託の制約により、ステーブルコイン市場はガラパゴス化しつつあります。JPYC は、スタートアップだからこそ挑める領域として、日本の法規制のもとで世界水準の DeFi に対応する日本円ステーブルコイン JPYC の創出を目指しています、その取り組みについてご紹介します。	
12:40-13:00	単独講演 井藤英樹 金融庁長官 概要：	A061
13:05-13:25	対談 レオ シン チョン シンガポール金融管理局 三好敏之 金融庁 総合政策局 国際総括官 概要：	A070
13:30-13:50	単独講演 アフラックが目指す「真のマネタイズ」 二見通 アフラック生命保険取締役専務執行役員・CTO（チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー）・CDIO(チーフ・デジタル・インフォメーション・オフィサー) 概要：DX の推進により、ステークホルダーへ新たな価値を提供することを目指して、日々取り組んでいるアフラック。この講演では、生成 AI をはじめとするデジタルテクノロジーを積極的に活用し、感動的なお客様体験の提供を実現するとともに「経済価値の追求」と「社会的課題の解決」を両立させ、“真のマネタイズ”の実現を目指すアフラックの取り組みをご紹介します。	A080
14:00-14:50	パネル 三井物産がパートナーと共に切り拓くデジタル金融の未来 ～AI・量子技術を活用したデジタル金融新事業開発 前半 岡野原大輔 Preferred Networks 代表取締役 最高研究責任者 石田大助 三井物産 コーポレートディベロップメント本部 執行役員 本部長 モデレーター：和歌伸介 三井物産 コーポレートディベロップメント本部 参与 デジタル金融チームリーダー 後半 結解秀哉 クオンティニウム 代表取締役 CEO 戸谷重之 三井物産 コーポレートディベロップメント本部 総合力推進部 部長 モデレーター：和歌伸介 三井物産 コーポレートディベロップメント本部 参与 デジタル金融チームリーダー 概要：金価格に連動した暗号資産や不動産を裏付けとしたデジタル証券等、先進的な金融ビジネスを創出してきた三井物産が、AI、量子技術の先進企業と共に取り組む新たなデジタル金融事業をご紹介します。事業パートナーである株式会社 Preferred Networks とクオンティニウム株式会社の両代表をお招きし、事業化に至るまでの経緯や今後の展望について討論を行うことで、新たな金融ビジネス創出のヒントを探ります。	A090
15:00-15:50	パネル 3メガフィナンシャルグループと語る、生成 AI を含む AI の現在地と今後の展望 山本忠司 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ 執行役常務 リテール・デジタル事業本部長 兼 グループ CDTO 磯和啓雄 三井住友フィナンシャルグループ 執行役専務 グループ CDIO 上ノ山信宏 みずほフィナンシャルグループ 執行役 グループ CHRO 兼グループ CDO 北風大輔 ベイカレント 副社長執行役員 モデレーター：和田安有夢 ベイカレント 執行役員 概要：生成 AI の登場により、企業における生成 AI を含む AI 活用が加速している。一方、実際に活用検討する中で、データ整備や投資コスト、ガバナンス面で想定以上の難度であることが明らかになるケースが多い。金融業界を牽引する 3メガフィナンシャルグループが、生成 AI を含む AI 活用にどのように取り組み、これからの金融業界の環境変化や、AI 活用における今後の展望をどのように捉えているのか、デジタル分野を強みとするベイカレントと、本音で語り合ってください。	A100
15:55-16:35	単独講演 日本の金融ビジネスの競争力強化へ向けて～日本の社会・経済を支え、守り、強くする AWS の取り組み～ 鶴田規久 アマゾン ウェブ サービス ジャパン 常務執行役員 金融事業統括本部 統括本部長	A110

	概要： AWS は 2006 年からクラウドサービスを提供し、日本においても幅広い金融機関に利用頂くようになりました。本セッションでは、日本の金融インダストリーにおける AWS の戦略的な活用事例、そして日本の金融ビジネスの競争力強化に向けた AWS の今後の取り組みについてご説明いたします。特に、生成 AI を活用したビジネス変革、サイバーセキュリティ対策の強化、レジリエンシーの確保など、金融機関が直面する課題への具体的な解決策と成功事例をお伝えします。	
16:40-17:00	単独講演 進化する金融サービスへのサイバーセキュリティ構築 ～サイバー攻撃の脅威増大への対策～ 福留朗裕 全国銀行協会 会長 三井住友銀行 頭取 CEO 概要： 金融と非金融の連携による金融サービスの進化が進む中、銀行は金融インフラの安全な運営を通じて、エコシステム全体の安定に寄与しています。一方で、サイバー攻撃の脅威増大により、サイバーセキュリティ対策の強化が重要課題となっています。本講演では、三井住友銀行および銀行界全体として行っているサイバーセキュリティ構築の取組みについてご紹介します。	A120
17:05-17:25	単独講演 暮らしに溶け込む保障 ～原点化する生命保険の未来～ 杉山俊光 ベイカレント アカウント統括本部 パートナー 概要：日本において長年、社会インフラとして機能してきた生命保険。しかし、消費者トレンドの変容などにより、従来のビジネスモデルでは“必需品”としての地位を維持することが難しくなりつつあると考えます。この潮流を転換する鍵となるのが、“原点化”×“テクノロジー”です。保障が暮らしに溶け込み、真に必要な人へ、必要な時に、必要な保障が届く未来。“原点化”する新たな生命保険の未来像と、その実現に不可欠なイネーブラーを提示します。	A130
17:35-18:25	パネル データコラボレーションからビジネスコラボレーションへ ～ポイント経済の真のマネタイズ力 東條英俊 Snowflake 社長執行役員 白石寛樹 三井住友カード データ戦略ユニット執行役員ユニット長 金融データ活用推進協会（FDUA）理事 洛西一周 Helpfeel 代表取締役 CEO モデレーター： 柳川範之 東京大学大学院経済学研究科教授 概要：データの共有や結合による価値の創出を指すデータコラボレーション。そこを起点に、事業運営、戦略立案、製品・サービスの提供プロセス全体に連携を広げていくビジネスコラボレーションがいま求められている。その典型のひとつが、ポイント経済。単体では儲からず、マネタイズの黒子と言われることの多い“ポイント”が大きく花開く道筋を探る。	A140
18:30-18:35	閉会挨拶 瀬戸隆一 内閣府副大臣（金融担当）	A150

シンポジウム HALL A：丸ビルホール 7F				ワークショップ HALL B：丸ビルコンファレンススクエア 8F			
3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)	3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)

シンポジウム（HALL A：丸ビルホール 7F）

3月5日（水）

9:00-10:00	パネル「日本発 AI x 金融・保険」が世界に羽ばたく日 A160 生田目雅史 東京海上ホールディングス 専務執行役員 グループ CDO 山本忠司 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ 執行役常務 リテール・デジタル事業本部長 兼 グループ CDTO 伊藤錬 Sakana AI 共同創業者 COO 柳瀬護 金融庁 総合政策局 審議官 モデレーター： 羽深宏樹 スマートガバナンス代表取締役 CEO 京都大学法政策共同研究センター特任教授 概要：生成 AI や web3 といった次世代テクノロジーの登場で、金融・保険 DX は新しいステージに進もうとしている。政官民の緊密な連携で成長とリスク対応・ガバナンスの両立を図ろうとする日本式イノベーションは世界に通用するのか。その可能性と課題を追う。
10:10-10:30	単独講演 生成 AI エージェント活用事例と導入のベストプラクティス A170 上田雄登 GenerativeX 取締役 / 共同創業者 概要：
10:40-11:30	金融庁パネル Human in the loop の先へ：AI 時代の人と AI の最適なバランスとは？ A180 白石直樹 三井住友フィナンシャルグループ デジタルソリューション本部 執行役員 デジタルソリューション本部長 小林裕宜 Citadel AI 代表取締役社長 中原新 ServiceNow Japan Vice President, Chief Transformation Officer モデレーター： 五十嵐ほづえ 金融庁 総合政策局リスク分析課 参事官 概要：AI が急速に発展する中で、「Human in the loop（HITL）」は、どの業界においても重要なテーマ。自動化か、人間の介入か？ 生成 AI のリアルな活用方策を議論する。
11:40-12:10	対談 保険と AI の融合 ―社会課題解決への実装戦略 A190 生田目雅史 東京海上ホールディングス 専務執行役員 グループ CDO 上野山勝也 PKSHA Technology 代表取締役 概要：社会・経済の成長と発展への貢献をミッションとする保険会社と、技術を課題に合わせて実装し、継続的価値提供を目指す AI ソリューション/SaaS 企業が、社会課題解決に向けた AI 実装戦略について率直に語り合います。
12:20-12:50	デモステージ A200 ServiceNow 世界へ解き放つ、ニッポンの可能性 - AI 活用を組織の隅々に行き渡らせるには 佐藤慶一 ServiceNow Japan Industry Go To Market 金融インダストリー担当ディレクター 概要：従来日本の金融機関とはじめてとする組織が強みとしてきた高品質の商品とサービスの提供は、多くの労働力人口によって支えられてきました。そしてこの 10 年フィンテックが最適化してきた個々の業務プロセスや顧客・従業員体験を、今後どのように生成 AI や AI エージェントを活用して全体最適へとスケールさせていくのか - ServiceNow が提供する AI Platform for Business Transformation についてご紹介します。 Snowflake Snowflake が実現する Financial Data Cloud ～生成 AI で描くデータ活用のさらなる広がり～ 玉置誠 Snowflake 第 2 ソリューションエンジニアリング本部 本部長 概要： xID マイナンバーカードは eKYC のためだけ？金融 DX を加速する次の一手 日下光 xID 代表取締役 CEO 概要：銀行で進むマイナンバーカード活用は、eKYC にとどまりません。本セッションでは、金融 DX の視点から、マイナンバーカードを活用した新たな可能性を提示し、法令対応やコスト削減だけではない、金融 DX の本質に迫ります。
13:00-13:35	講演 Microsoft が AI Agent で描く新次元の金融 A210 津坂美樹 日本マイクロソフト 代表取締役社長 荒濤大介 日本マイクロソフト 執行役員常務 金融サービス事業本部長

	板屋 篤大和証券グループ本社 執行役員 大和証券 常務取締役 概要：このセッションでは、AI エージェントを中心に、マイクロソフトの最新のテクノロジーの概要を説明します。その上で、そうした最新のテクノロジーを活用した金融領域でのイノベーションの可能性を示し、実際に日本の金融機関で進められている最先端の事例を紹介します。最後に、各金融機関が今後 AI エージェントを活用した変革を進める上で利用可能なマイクロソフトが提供するプラットフォームやツールをご案内します。 13:50-14:40金融庁パネル ブロックチェーンがもたらすエンタメ・コンテンツ新時代A220 増澤 晃テレビ朝日ビジネスソリューション本部 IoTv 局 IoTv センター先端コンテンツビジネス担当部長 原井 義昭コロプラ取締役 上席執行役員 CFO Brilliantcrypto 取締役 成本 治男TMI 総合法律事務所 パートナー弁護士 モデレーター：黒田 千春KDDI 渉外・広報本部 政策調整部 レギュラトリーエキスパート 概要： EC モール、鉄道、SNS、エンタメなど他業態からの金融事業への参入が相次ぎ、金融がかつてないほど社会に溶け込み始めている。既存プレイヤーも負けてはならず、業態や系列の垣根を越えて、1つのスマホアプリから決済・送金・資産運用・保険といった様々な金融サービスに数クリックでアクセスできる環境が整いつつある。既存と新興勢力の争いの側面はもちろんあるが、足元では、埋め込む側、埋め込まれる側といったように、銀行等とフィンテック事業者等が連携して顧客志向で金融サービスの高度化を目指す動きが多い。今度どのように金融サービスの社会インフラ化を加速させることができるか、多様なメンバーで議論する。
	14:50-15:40パネル AI の社会実装が導く新たな金融ビジネス ～人間性の発揮がカギにA230 森田 航二郎PKSHA Technology AI Solution 事業本部 執行役員 AI Solution 事業本部 本部長 伊田 弥樹GenerativeX 執行役員 村井 英樹前内閣官房副長官 衆議院議員 自由民主党 岩田 太地NEC 主席ビジネスプロデューサー Painter 代表取締役社長 モデレーター：副島 豊SBI ホールディングス SBI 生成 AI 室 プロジェクトコーディネーター SBI 金融経済研究所 研究主幹 概要：生成 AI の登場と急速な進化が、企業活動から人々の生活まで大きく影響を与えようとしている。テクノロジーのインパクトに目を奪われがちだが、企業が売り上げや利益を伸ばし、人々の暮らしが豊かになるためには、人の思考パターンや行動の変容につながる、人間性を発揮した形での AI の社会実装を新たな金融ビジネスに活かす工夫が必要だ。
	15:50-16:40パネル 量子コンピュータによるサイバーセキュリティ脅威の到来A240 平将明デジタル大臣 （ビデオ登壇） 屋敷 利紀金融庁 総合政策局 局長 河原 淳平元警察庁 サイバー警察局 局長 リーテックス特別顧問 藏本 雄一日本アイ・ピー・エム IBM コンサルティング事業本部 Cybersecurity Services 理事/シニアパートナー 河津 拓哉リーテックス 執行役員・CTO モデレーター：小倉 隆志リーテックス代表取締役社長 武蔵野大学法学部客員教授 概要：量子コンピュータが現実利用できる日が近づいています。大きなイノベーションですが、現実にはハッキングへの悪用が懸念されています。このサイバーセキュリティ脅威に対して、昨年 11 月には金融庁から銀行向けに耐量子コンピュータ暗号への切り替えを提唱するレポートが公表されました。平デジタル大臣のビデオメッセージをはじめ、屋敷金融庁総合政策局長にご登壇いただき、金融機関の緊急課題として、この問題を議論します。
	17:00-17:50パネル Web3、いま取るべき国家戦略への道筋A250 塩崎 彰久衆議院議員 自由民主党副幹事長 渡邊 尚史ソニー銀行 専務取締役 森川 夢佑斗Ginco 代表取締役 岡部 典孝JPYC 代表取締役 モデレーター：荻生 泰之EY ストラテジー・アンド・コンサルティング フィンテック/ブロックチェーンリーダー 概要：2024 年 4 月に政府・自民党が「web3 ホワイトペーパー」を発表、日本において安心安全だがイノベーションにも挑戦できる世界でも有数の web3 事業環境整備が緒についた。ただ、米国では親暗号資産を強く打ち出すトランプ政権の誕生で、web3 も一段と進化、発展する気配を見せている。日本がいま取るべき web3 の国家戦略とは何か、冷静かつ熱く議論する。
	18:00-18:30単独講演 「日本の課題解決 ～DX、AI、ブロックチェーン～」A260 平将明デジタル大臣

シンポジウム HALL A：丸ビルホール 7F				ワークショップ HALL B：丸ビルコンファレンススクエア 8F			
3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)	3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)

シンポジウム（HALL A：丸ビルホール 7F）

3月6日（木）

9:00-9:50	金融庁パネル 金融審議会から紐解くデジタル金融法制の未来①：デジタル資産 A270 若原幸雄 金融庁企画市場局参事官 落合孝文 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業プロトタイプ政策研究所 所長・シニアパートナー 弁護士 スマートガバナンス代表取締役共同創業者 岩下直行 京都大学公共政策大学院教授 ヤム・キ・チャン Internet Financial (Circle) Vice President, Strategy and Polic モデレーター： 小川恵子 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング EY Japan FSO（金融事業部）リーダー パートナー 概要：金融審議会で議論されている論点のうち、デジタル資産関連（暗号資産仲介業、SC リザーブ資産運用緩和など）を中心にデジタル金融法制の将来像について議論
10:00-10:50	金融庁パネル 金融審議会から紐解くデジタル金融法制の未来②：資金移動業、クロスボーダー送金 A280 三浦知宏 金融庁企画市場局信用制度参事官 クリスト・カーマン Wise 共同創業者 兼 CEO アヌバム・パウジャ NIUM エグゼクティブ・バイス・プレジデント 兼 ゼネラル・マネージャー APAC・中東・アフリカ担当 夏目英治 リクルート MUFG ビジネス 代表取締役社長 モデレーター： 堀天子 森・濱田松本法律事務所 外国法共同事業 弁護士 パートナー 概要：金融審議会で議論されている論点のうち、資金移動業関連（クロスボーダー収納代行、滞留規制緩和、ペイロール規制緩和など）を中心にデジタル金融法制の将来像について議論
11:00-11:50	パネル 前例、常識を超えたサービスを目指して ～次世代フィンテックの可能性と課題 A290 小宮山宏 三菱総合研究所 理事長 プラチナ構想ネットワーク 会長 中島徳至 Global Mobility Service 代表取締役社長 CEO 松橋正明 セブン銀行 代表取締役社長 神田潤一 衆議院議員 法務大臣政務官 モデレーター： 松井晴彦 グローシップ・パートナーズ 代表取締役 オーナーシップ 代表取締役 概要：AI、ブロックチェーン、IoTといった先端テクノロジーを活用した次世代フィンテックは、さまざまな分野で前例や常識を超えたサービスを生み出している。ただ、その普及のためには、ユーザーや企業がそれらのサービスを積極的に受け入れ、新しい社会を作っていくという意識変革を行う必要がある。
12:00-12:50	デモステージ A300 AvaLabs 世界の金融機関におけるブロックチェーン：Avalanche の活用 ニコラス ムッサーレム Ava Labs Ava Cloud Ava Cloud CEO 概要：本セッションでは、SFF でも注目されたブロックチェーンアバランチの活用事例についてご紹介します。世界の金融機関がアバランチを活用することで、既存の金融システムが抱える課題をどう解決し、新たな価値を創造しているかご説明します。 グローシップ・パートナーズ 投資型クラウドファンディングシステム『Crowdship Funding』とデジタル証券（STO）管理システム『OwnerShip』の紹介 松井晴彦 グローシップ・パートナーズ 代表取締役 オーナーシップ 代表取締役 概要：50社以上の事業者が利用する投資型クラウドファンディング IT プラットフォーム『Crowdship Funding』後継版『Crowdship Market』と GK-TK スキーム採用のデジタル証券（STO）管理システム『OwnerShip』をご紹介します。 G.U.テクノロジーズ Japan Open Chain presents G.U.Coin Studio のご紹介 近藤秀和 Japan Open Chain ファウンダー G.U.Technologies 代表取締役 CTO 概要：金融機関向けのステーブルコイン発行・管理システム G.U. Coin Studio をご紹介します。ステーブルコインの発行・流通管理に加え、既存の勘定系・会計システムとの連携を可能にし、安全かつ効率的なデジタル資産運用を実現します。ま

た、Japan Open Chain との組み合わせにより、信頼性の高い金融インフラを提供します。本デモでは、システムの機能や活用シナリオを具体的にご説明し、金融機関の皆様に新たな可能性をご提案します。

TRUSTDOCK eKYC の第 2 フェーズ到来 !!IC チップ読取ファーストの顧客体験 DX

千葉孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役
浅野康之 みずほ銀行 決済ビジネス推進部 執行役員部長

概要：政府が犯罪収益移転防止法の本人確認手法を「公的個人認証(JPKI)」に原則一本化する方針を打ち出し、金融機関をはじめとする事業者の eKYC 本人確認導入相談が増加しています。マイナンバーカードを活用した eKYC 本人確認は、偽造・なりすまし防止、迅速化、精度向上などの効果が期待されます。本セミナーでは、最新の eKYC 本人確認導入における課題や解決策を具体的な事例を交えて解説。効率的かつ安全な本人確認を実現するための必見の機会です！

13:00-13:20

単独講演 北海道・札幌市の挑戦：GX 産業の集積とアジア・世界の「金融センター」を目指して A310
秋元克広 札幌市 札幌市長

概要：本セッションでは、産学官金の 21 機関で構成されるコンソーシアム「Team Sapporo-Hokkaido」の取り組みを紹介し、北海道・札幌市が再生可能エネルギーの供給基地およびアジア・世界の金融センターを目指す戦略を語ります。また、国の GX2040 ビジョンも踏まえた北海道における GX 関連投資の動向や、金融機能の強化集積に向けた具体的な施策についても説明します。

13:30-14:20

パネル デジタル・AI 時代の金融・保険のビジネス変革と未来への挑戦 ～今、求められるリスク対応とガバナンスとは A320
本山智之 三井住友海上火災保険 常務執行役員
MS&AD インシュアランスグループホールディングス執行役員 グループ CDO
林良太 Finatext ホールディングス 共同創業者 / 代表取締役社長 CEO
金子寿太郎 金融庁 国際政策管理官
岩井孝夫 NEC Corporate SVP 兼 金融ソリューション事業部門長
モデレーター：
学頭貴子 日本経済新聞社 金融・市場ユニット金融庁担当キャップ

概要：デジタル・AI 実装が金融機関でも急速に進展し、ビジネスモデルを大きく変革しようとしています。本講演では、DX 推進のリーダーが生成 AI 活用の先進事例をご紹介します、これらが金融・保険ビジネスにもたらす変革について探ります。さらに、先端技術の適切な導入促進に向けた官民連携の重要性や、実効性を高めるためのリスク対策およびガバナンスの課題とその解決に向けたアプローチ、共創による未来像について議論します。

14:30-15:20

金融庁パネル グローバル暗号規制の動向 A330
有泉秀 金融庁金融国際審議官
リム・タン・リー Assistant Managing Director, Monetary Authority of Singapore
ジェーン・ムーア 英国 FCA
モデレーター：
クリス・ブルーマー ミジョージタウン大教授

概要：FSB や IOSCO の当局者によるグローバルな暗号資産規制動向と、各国の規制導入に向けた取り組み（SCSI ピアレビュー等）について議論する。

15:30-16:00

対談 DX を成功に導くカギとは？デジタル通貨で実現する次世代の経営戦略 A340
山田貴博 アビームコンサルティング代表取締役社長
山岡浩巳 フューチャー取締役 グループ CSO デジタル通貨フォーラム座長

概要：アビームコンサルティングの山田社長とデジタル通貨フォーラムの山岡座長が、DX を推進する上での課題を紐解き、デジタル通貨を活用した新たな経営戦略を解説します。山田社長が、DX 推進の視点から、商流と金流の一体化の必要性和デジタル通貨 DCJPY の可能性を紹介。山岡座長が、決済手段高度化へのニーズが高まる中、トークン化預金、ステーブルコイン等のデジタル通貨が果たしうる役割について、海外の最新動向も含めて解説します。

16:10-16:30

単独講演 次世代の金融サービスを切り拓くデジタル・イノベーション～生成 AI と Web3 領域への取り組み A350
板屋篤 大和証券グループ本社 執行役員 大和証券 常務取締役

概要：大和証券グループは、人生 100 年時代を生きる人々に寄り添った金融サービスを提供していくというビジョンのもと、デジタル技術を活用したお客様体験の向上や業界の発展に取り組んでいます。AI コンタクトセンターによるお客様の利便性向上、不動産 ST や全額電子マネーで利払いを行う ST 社債発行による新たな資金循環の創出など、これまでの挑戦と今後の展望についてご紹介します。

16:40-17:30

パネル ワークスタイルの転換点：働いた分の報酬を自分のペースで受け取れる喜び。働くモチベーションに変革をもたらすデジタル給与払いの未来 A360
渡辺和樹 リクルート HRSaaS プロダクトマネジメント室 ベイロールプロダクト部 部長
西脇源太 リクルート MUFG ビジネス 取締役 COO
リクルートプロダクト統括本部 SaaS 領域プロダクトマネジメント室
新規決済プロダクトマネジメント U

	末吉敬明 三菱 UFJ 銀行 決済企画部 副部長 谷本有香 リンクタイズ Forbes JAPAN Web 編集長 モデレーター： 三輪純平 リクルートプロダクト統括本部シニアエキスパート 国立リベラルアーツ代表取締役 概要：リクルート MUFG ビジネス(RMB)が提供する、決済ブランド『COIN+（コインプラス）』を搭載した『エアウォレット』（AirWallet）。 デジタルウォレットにより 働いた分の報酬を必要な時に受け取れる、かつてない柔軟性と革新性を実現します。本パネルでは、デジタル口座の活用がもたらす給与受取の多様化、それが促すワークスタイル変革、その先にあるパラダイムシフトの可能性について、パネリストとの方々と共に未来を展望します。	
17:40-18:30	パネル デジタル認証、デジタル ID が目指す未来の暮らし、仕事、社会 山廣弘佳 大日本印刷 A B センターデジタルイノベーション事業開発ユニット データビジネス推進部第 2 グループ リーダー 日下光 xID 代表取締役 CEO 林達也 デジタル庁 アイデンティティアーキテクト アイデンティティユニットユニット長 間下公照 ジェーシービー イノベーション統括部市場調査室長 モデレーター： 崎村夏彦 OpenID Foundation Chairman NAT コンサルティング合同会社 代表社員 概要：生成 AI の登場で不正アクセスやなりすまし詐欺などの犯罪が急増するデジタル社会。デジタル認証やデジタル ID は、こうしたリスクを防ぎながら、さまざまな工夫を凝らしてよりよいデジタル社会の実現を目指す。金融サービスから行政のあり方、働き方、暮らしまで、最適化された未来のデジタル社会の姿を探る。	A370
18:40-19:30	政府・日銀本音トーク ～新時代のマネーとフィンテック 鳩貝淳一郎 日本銀行 決済機構局 FinTech 副センター長 デジタル通貨検証グループ長 津田夏樹 財務省 理財局国庫課 課長兼デジタル通貨企画官 牛田遼介 金融庁総合政策局フィンテック参事官室チーフフィンテックオフィサー 楠正憲 デジタル庁デジタル社会共通機能グループ統括官 概要：財務省・日銀・金融庁の現場責任者が、テクノロジー x マネーを中心にデジタル金融の未来を語る。	A380

シンポジウム HALL A：丸ビルホール 7F				ワークショップ HALL B：丸ビルコンファレンススクエア 8F			
3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)	3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)

シンポジウム（HALL A：丸ビルホール 7F）

3月7日（金）		
9:00-9:50	金融庁パネル 新しい市場の創り方 佐々木大輔 フリー CEO 青柳直樹 newmo 代表取締役 CEO 入戸野真弓 まちのわ代表取締役社長 まちのわホールディングス代表取締役社長 齊藤達哉 Progmatt, Inc. 代表取締役 Founder and CEO モデレーター：北澤直 Eight Roads Ventures Japan ベンチャーパートナー 概要：既存の金融サービス水準が相当高い日本において、隣接領域も含めて今後どのように新たな市場を創っていくことができるのか、フィンテック領域における起業家を中心に議論する。	A390
10:00-10:40	デモステージ RightTouch 野村修平 RightTouch 代表取締役 概要： 大日本印刷 信頼性と便利性を融合させた DNP が目指す「未来のあたりまえ」 山廣弘佳 大日本印刷 A B センターデジタルイノベーション事業開発ユニット データビジネス推進部第 2 グループ リーダー 概要：未来のデジタル社会では、多くの手続きがオンラインで完結し、コミュニケーションもオンラインで行われることが増えると考えられます。そのような社会環境下で、DNP はどのように信頼性と便利性を提供していくのか、その戦略をお話します。特に金融機関における分散型 ID 管理プラットフォーム「CATRINA」の活用方法について、具体的な事例を交えて解説します。 Bridgewise ～ グローバル AI 投資インテリジェンスプラットフォーム 宮野尾誠 Bridgewise 日本代表 概要：Bridgewise は、50,000 を超える世界中の資産の膨大な多言語データセットへのアクセスを提供することで、投資インテリジェンスを変革しています。現在、世界の株式の 80%は従来のプラットフォームではカバーされておらず、大きな市場のギャップが明らかになっています。Bridgewise は、このギャップを埋め、あらゆる背景を持つ投資家を支援する包括的なツールと知識を提供することを目指しています。 FAKE かんたんな金融体験で CX 向上を実現、FAKE が掲げるデザインドリブン®な開発手法 高橋才将 FAKE 代表取締役 概要：免責事項や注意書き、多様なプランの説明など、複雑なユーザー体験になりがちな金融サービスを、いかにかんたんにわかりやすいものにできるか。プロトタイプとヒアリングを用いることで、どんな複雑なサービスもかんたんにし CX 向上や NPS 改善を実現させてきた、FAKE のデザインドリブン®の手法をご紹介。第一生命様や JCB 様などで導入が進んでいる最新事例もご紹介いたします。	A400
10:50-11:40	金融庁パネル デジタル社会の金融犯罪に挑む ～テクノロジーを活用したりスクへの対応 齋藤豊 金融庁金融犯罪対策室 金融犯罪対策室長 千葉孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 鈴木秀俊 PayPay 法務リスク統括本部 法務コンプライアンス本部 法務コンプライアンス本部長 阿部耕一 マネー・ローンダリング対策共同機構 代表執行役社長 モデレーター：高田貴生 野村総合研究所金融 GRCS ソリューション事業部チーフストラテジスト 概要：社会のデジタル化の進展に伴い、フィッシングやなりすまし、特殊詐欺といった金融犯罪被害が拡大している。官民が一丸となって国民をデジタル社会の脅威から守る必要がある中で、不正検知や本人確認の強化などのテクノロジーを活用したリスク低減に向けた取組みと今後の展望について議論する。	A410
11:50-12:10	単独講演 テクノロジーと変革戦略による銀行の強化 関直紀 Oracle Financial Services Software Regional Sales Director, Banking – Japan 概要： ・ 邦銀の変革戦略 ・ 銀行の事業優先度やリスク許容度に応じた多様な変革アプローチの提供	A420

12:30-13:30	・ 大手グローバル銀行や邦銀における成功事例		
	表彰式 第3回金融データ活用チャレンジ		
	A430		
	プレゼンター：		
	岡田拓郎	金融データ活用推進協会（FDUA） 代表理事 Trust 代表取締役 CEO	
	屋敷利紀	金融庁 総合政策局 局長	
	青木伸夫	三井住友フィナンシャルグループ データマネジメント部長	
	安原貴彦	みずほ第一フィナンシャルテクノロジー 代表取締役社長	
	岩田廉平	三菱 UFJ フィナンシャル・グループ デジタル戦略統括部 部長	
	宮原幸一郎	JPX 総研 代表取締役社長	
	中島淳一	金融データ活用推進協会（FDUA） 顧問	
	荒濤大介	日本マイクロソフト 執行役員 常務 金融サービス事業本部長	
	岩下優介	Dataiku 金融営業本部 担当部長	
	小川幹雄	DataRobot Japan 副社長 AI&サービス統括部長	
	渡邊素行	MILIZE 取締役 Chief Marketing Officer	
齊藤秀	SIGNATE 代表取締役社長 CEO Founder		
今井泰樹	日立製作所 デジタルシステム&サービス 役員		
森田真衣	NTT データルウィーブ 営業推進室 業務コンサルタント		
概要：業界横断のデータコンペティション「第3回金融データ活用チャレンジ」の表彰式を開催いたします。今回は、「生成 AI を活用した資産運用アドバイス」をテーマに初となる金融庁と共催、地域金融の進化と次世代人材の発掘に貢献すべく、1,500 名を超える方にご参加いただきました。上位者への各賞の表彰やプレゼンターからのコメントを予定しています。			
13:40-14:30	金融庁パネル 地域 DX の成功要因を探る		
	A440		
	山寺雅彦	山梨中央銀行 代表取締役専務	
	榊田隆之	コミュニティ・バンク京信 理事長	
	萬國谷久美子	セールスフォース・ジャパン エンタープライズ公共・金融・地域 SX 営業統括本部 金融・地域 SX 営業本部 執行役員 本部長	
	岡田大	金融庁監督局参事官	
	モデレーター：		
	藤野宙志	グッドウェイ代表取締役社長 特定非営利活動法人 金融 IT 協会事務局長	
	概要：地域金融機関の DX 推進におけるカルチャー変革の重要性に焦点を当て、好事例や具体的な解決策について掘りし、実践的なアプローチ・考え方を共有することで、各金融機関においてカルチャーを再考するための一助となることを目指す。		
	14:40-15:50	インパクトピッチファイナル	
		A450	
		Oxford Risk（英国）	Oxford 大学発で行動ファイナンスを駆使した投資アドバイスを提供
		Turing Japan 株式会社（東京・渋谷）	国境を越えるデジタル身分証明書と VC の相互運用による KYC 実現
		Ringkas Asia Pte Ltd（シンガポール）	AI 駆使した住宅ローン審査で最適な銀行とのマッチング実現
		goen 合同会社（東京・品川）	AML 対応ウォレットで円ステーブルコインの流動性を拡大させる
株式会社 Jamm（東京・文京）		オンライン支払いを自身の銀行口座からできる銀行間決済システム	
株式会社 MEME（東京・中央）		給食費など学校への支払いをデジタルで集金・管理するシステム	
Bridgewise（米国）		AI を使った投資診断を多言語で提供、投資アドバイスも提供	
株式会社ヤモリ（東京・渋谷）		空き家を賃貸物件として再生させる空き家賃貸ファンド組成	
審査員：			
堺美夫		三菱地所イノベーション施設運営部ユニットリーダー 東京科学大学特任講師	
松澤翔太		Decima Fund 共同創業者 デジタル庁 Web3.0 業務エキスパート	
関正之		日本生命保険イノベーション開発室 室長 NipponLifeX	
関口慶太		日本経済新聞社 金融・市場ユニットアンカー総合デスク	
概要：フィンテックの革新的な技術と将来を見据えたアイデアで社会課題解決を狙う国内外のスタートアップ8社が最優秀賞「日経賞」を目指してピッチを繰り広げます。			
16:00-16:50	パネル サプライチェーン・ファイナンスのパラダイムシフト		
	A460		
	亀井明紀	公正取引委員会事務総局 経済取引局取引部 企業取引課長	
	小畑良晴	日本経済団体連合会 経済基盤本部 本部長	
	及川勝	全国中小企業団体中央会 常務理事	
	宿輪純一	帝京大学経済学部教授・博士(経済学) 社会貢献公開講義 宿輪ゼミ代表	
	小倉隆志	リーテックス代表取締役社長 武蔵野大学法学部 客員教授	
	モデレーター：		
	鈴木健二郎	日本経済新聞社編集 ビジネス報道ユニット テック・新興グループ 記者	
	概要：債務者がファイナンス・コストを負担しないという世界でも類を見ない金融決済である一括ファクタリングが、下請法では禁止となる下請法の改正案が今国会に提出される見込みです。これからのサプライチェーンファイナンスは発注者中心から受注者中心に切り替わらなければなりません。この改正案を策定された公正取引委員会の亀井課長		

をお迎えして、これからのサプライチェーンファイナンスのあり方について議論します。

17:00-17:40	単独講演 デジタルテクノロジーが燈す変革の道標 ～ Digital technology illuminates the road for change ～ 北尾吉孝 SBI ホールディングス代表取締役会長 兼 社長 概要：	A470
17:50-18:30	インパクトピッチ表彰式	A480

セッション情報は 2025/03/06 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

日経 SUM 事務局

シンポジウム HALL A：丸ビルホール 7F				ワークショップ HALL B：丸ビルコンファレンススクエア 8F			
3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)	3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)

ワークショップ（HALL B：丸ビルコンファレンススクエア 8F）

3月4日（火）

10:00-11:00

シリコンバレーでの挑戦、MUFG のオープンイノベーション実践を紐解く

powered by 三菱 UFJ 銀行

大西潤

三菱 UFJ フィナンシャル・グループ デジタル戦略統括部

Head for Americas, Global Innovation Team, MUFG

前田俊輔

三菱 UFJ フィナンシャル・グループ デジタル戦略統括部

Director, Global Innovation Team

佐野尚志

三菱 UFJ イノベーション・パートナーズ

Chief Investment Officer

モデレーター：

松田晃典

三菱 UFJ フィナンシャル・グループ デジタル戦略統括部 事業開発グループ 次長

概要：世界最先端のイノベーションが生まれるシリコンバレーに於いて、MUFG が進めるオープンイノベーション活動についてご紹介。最新技術やトレンドの調査・検証のみならず、エコシステムでのネットワーキング、CVC である三菱 UFJ イノベーション・パートナーズとのシナジー、日米関係部との協働など、施策推進成功のポイントを実際の事例とともに共有します。

11:05-12:05

対談：三井住友銀行様のトランザクションビジネスへの取り組みを伺う –

Fireside chat with Oracle

powered by Oracle

宮國均

日本オラクル オラクル フィナンシャルサービスセールスディレクター

遠藤直樹

三井住友銀行トランザクション・ビジネス本部 執行役員 本部長

概要：

・リテールバンキングにおける独自の顧客体験の提供

・Banking as a Service (BaaS) モデルを活用し、銀行サービスの差別化、収益向上、顧客の必要なタイミングでのサービス提供

・法人向けトランザクションバンキングの高度化によるエンゲージメントの強化

12:10-12:50

三菱 UFJ 信託銀行におけるサイバー対策

～オペレジを見据えた「サードパーティリスク管理システム」構築事例～

powered by ServiceNow

太田大介

三菱UFJ信託銀行 経営管理部 オペレーションリスク管理グループ上級調査役

三木啓一

ServiceNow Japan 金融・公共 SC 統括本部 金融 SC 本部 本部長

概要：

本ワークショップでは、金融庁が 2024 年 10 月に公表した『金融分野におけるサイバーセキュリティに関するガイドライン』への対応も支援する、金融規制対応においてグローバルで豊富な実績を誇る ServiceNow の AI Platform をご紹介します。さらに、サードパーティリスク管理（TPRM）の高度化を鋭意推進されている三菱 UFJ 信託銀行様を迎え、具体的な施策もお届けします。ガイドライン対応、リスクガバナンス全体の管理にお悩みの方は、ぜひご参加ください。

13:00-14:00

銀行保有データのデジタル証明書化がもたらす可能性 ～日本・台湾の銀行間

連携をモデルケースとして～

powered by 大日本印刷

苗代暁彦

大日本印刷 A B センターデジタルイノベーション事業開発ユニットデータビジネス推進部第 2 グループ

石川真理

Turing Japan 代表取締役

概要：

近い将来、外国人労働者の受け入れ増加に伴い、口座開設や海外送金など、さまざまなシーンで銀行オペレーション負荷増やコンプライアンスリスクの増加が予想されます。本ワークショップでは「台湾の銀行が発行したデジタル証明書を日本の銀行で有効活用すること」をモデルケースとし、これら負荷やリスクの低減だけでなく、銀行の新たな事業モデル確立につながる可能性についてお伝えします。ご参加お待ちしております。

14:10-15:10

金融×生成 AI の現実解：特化型 AI エージェントと AI セキュリティの最前線

powered by 伊藤忠テクノソリューションズ

ジョニー・リン

Gemini Data, Inc. Founder & CEO

クリストファー・グエン

Aitomatic, Inc. Founder & CEO

福永圭佑

伊藤忠テクノソリューションズ金融 NEXT 企画部 部長代行

概要：

生成 AI の進化により、金融業界における活用戦略が多様化しています。本パネルでは、米国の最前線を走る AI スタートアップを招聘し、目的特化型 AI エージェント、AI セキュリティ・ガバナンス、オンプレでの LLM 環境構築などを複合的に議論。クラウドサービス型 AI ソリューション活用によるコスト効率の最大化と、プライベート環境で

	の差別化戦略をどう組み合わせるべきか、日本の金融機関が直面する課題に即した現実解を探ります。		
15:20-16:20	NVIDIA と語る AI プロジェクト成功の要諦	powered by EY Japan①	B050
	平島浩司	エヌビディア合同会社 エンタープライズ事業本部 シニア・ビジネスデベロップメント・マネージャー	
	呉先超	エヌビディア合同会社エンタープライズ事業本部シニア・ソリューション・アーキテクト	
	鷹取宏	EY ストラテジー・アンド・コンサルティング テクロジー・コンサルティング ディレクター	
	宮下隆義	EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス・コンサルティング パートナー	
	モデレーター：		
	島藤孝弘	EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス・コンサルティング パートナー	
	概要：グローバル企業における最新の取り組み・トレンドから見えてくるヒントを足掛かりに、日本の金融機関への示唆・メッセージを議論します。昨今 AI に関する多くのプロジェクトが組成・推進されている中で、実務的に見えてきている課題にどう対処すべきか、サステナブルな取り組みに昇華し、その成果をビジネス拡大、“真のマネタイズ”にどうつなげていくかを考えます。		
16:30-17:10	ソニー銀行の web3 戦略	powered by ソニー銀行	B060
	中路宏志	ソニー銀行 執行役員 マーケティング部 CX 部担当	
		ソニーフィナンシャルグループ執行役員ブランド戦略担当	
	赤石智哉	ソニー銀行 DX 事業企画部 プロダクトマーケティングマネージャー web3 プロモーション課 課長	
	概要：ソニー銀行は、ソニーグループそしてソニーフィナンシャルグループの一員として 2026 年に創業 25 周年を迎えます。引き続きインターネットを活用して、お客様に安心安全で便利な金融サービスを提供すると共に、web 3 領域においてもグループ連携を軸に積極的に取り組んでいます。直近の web3 関連の取り組みなどをご紹介します。		
17:20-18:20	Microsoft の Agentic AI × 金融 DX ―顧客接点と業務プロセスのリアルな進化	B070	
	powered by 日本マイクロソフト①		
	小田裕也	日本マイクロソフト 金融サービス事業本部 銀行・証券本部 AI Transformation Lead	
	與島仙太郎	ACES 取締役/COO	
	西間木将矢	ヘッドウォーターズ 取締役 DATA IMPACT JOINT STOCK COMPANY 取締役	
	モデレーター：		
	金子暁	日本マイクロソフト 業務執行役員 金融サービス事業本部 銀行・証券本部長	
	概要：このセッションでは、AI エージェントが生み出す新しいユーザー体験や業務改革をわかりやすく紹介します。同時に、それらを支える品質・セキュリティ・ガバナンスの新しい基準を、どのように満たしていくかを探ります。最新の活用事例や専門家の視点を通じて、金融業界における AI の可能性を深掘りし、新たな顧客価値の創出や持続的な成長に向けた具体的な戦略を考えます。		

ワークショップ (HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア 8F)

9:20-9:50	デザインドリブン®を活用した、最先端の新規事業構築 第一生命や JCB など が導入している。このセッションでは、デザインドリブンの活用事例、設計手法、	B080
-----------	---	------

10:00-11:00	金融ビジネスでの生成 AI 活用 成果創出の局面へ powered by AWS	B090
-------------	---	------

11:10-12:10	外部企業との共創の先にあるもの ～三菱 UFJ 銀行の BaaS 戦略～	B100
-------------	--------------------------------------	------

12:20-12:50	果が「ホテル・グランドパレス」形式で、この取り組みの狙いや長期ビジョンについて語ります。 花開くトークナイゼーションビジネスの今 powered by Ginco	B110
-------------	--	------

13:15-13:55	三井住友トラスト・アセットマネジメントの Snowflake と共に歩む資産運用	B120
-------------	--	------

14:10-15:40	
-------------	--

三井物産がパートナーと共に切り拓くデジタル金融の未来
～ 技術力ある FinTech 企業と三井物産のパートナーリングで挑むデジタル金融新事業 ～ powered by 三井物産

B130

前半
仲井隆 三井物産 コーポレートディベロップメント本部金融事業部 部長
松本勇氣 LayerX 代表取締役 CTO
モデレーター：
山本忠太則 三井物産コーポレートディベロップメント本部 金融事業部プロジェクトマネージャー

後半
西本一也 デジタルアセットマーケットズ代表取締役 インタートレード代表取締役
岡田健 三井物産 コーポレートディベロップメント本部 商品市场部 部長
三井物産デジタルコモディティーズ 代表取締役社長
モデレーター：
見市礁 三井物産コーポレートディベロップメント本部 商品市场部 部長補佐

概要：三井物産は総合商社でありながら、10 年以上前から金融とデジタルの融合に新たな可能性を見出し、高度なデジタル技術を持つ Fintech 企業との協業を多数推進してきました。
そのなかでも、デジタル証券や生成 AI/LLM 分野等で協働している株式会社 LayerX と、暗号資産関連事業を共に手掛ける株式会社デジタルアセットマーケットズ社の両代表を招き、これまでの取組みや成果を出す秘訣、今後の展望について語り合います。

15:50-16:50

保険業界における生成 AI 活用の現状と AI Agent による今後の展望

B140

powered by 日本マイクロソフト②
長町浩史 日本マイクロソフト 金融サービス事業本部 保険・地域金融本部長
近田 伸矢 MS&AD インシュアランスグループホールディングス デジタルイノベーション部 主席スペシャリスト
寺崎亮 明治安田生命保険 IT・デジタル戦略部 デジタル戦略推進グループ グループマネジャー
與島仙太郎 ACES 取締役 COO
モデレーター：
石田裕幸 日本マイクロソフト 金融サービス事業本部 保険・地域金融本部アカウント テクノロジー ストラテジスト

概要：本セッションでは、保険会社における生成 AI の活用の現状について、保険会社様および関連するパートナー企業様とパネルディスカッション形式でご紹介いたします。また、今後の保険会社における AI エージェントの活用展望についても探っていきます。

17:00-18:30

powered by BGIN

B150

17:00～17:45 前半 米国における暗号資産サイバーセキュリティ対策の動向
大久保智史 Penguin Securities Pte. Ltd. Chief Security Officer NTT Digital, Inc. セキュリティ
マネジメント室分散技術セキュリティ エバンジェリスト
ガナナンド・キニ マイター・コーポレーション リード・サイバーセキュリティ・エンジニア
エリック・バーガー バージニア工科大学研究教授
コモンウェルス・サイバー・イニシアティヴ リサーチ・ディレクター
キャロル ハウス テクトニック・パートナーズ CEO ジョージタウン大学上級客員フェロー
モデレーター：
松尾真一郎 ジョージタウン大学 Department of Computer Science 研究教授 バージニア工科大学 研究教授

概要：日本の業界関係者が、米国における暗号資産のサイバーセキュリティに関する最新の問題意識と対応策の議論、そして、サイバーセキュリティ対策に妥協しない米国の姿勢を学ぶことで、日本の業界においても業界発展のためにサイバーセキュリティ対策が必須であることの理解を促す。

17:45～18:30 後半 日本の暗号資産業界におけるサイバーセキュリティ脆弱性
情報・脅威インテリジェンス共有体制の構築に向けて

清水茂 金融庁総合政策局フィンテック参事官
荒川大 ENNA 代表取締役 一般社団法人サイバーリスク情報センター（CRIC）事務局長
平下美帆 Crypto Garage 統制本部 統制本部長
佐々木康宏 JPCrypto-ISAC 代表理事 楽天ウォレット CIO 兼 執行役員
モデレーター：
松尾真一郎 ジョージタウン大学 Department of Computer Science 研究教授 バージニア工科大学 研究教授

概要：日本の業界関係者が、業界におけるサイバーセキュリティ対策強化の必要性を再認識した上で、サイバーセキュリティ対策の一つである脆弱性情報や脅威インテリジェンスの事前共有の重要性を理解し、JPCrypto-ISAC を通じて業界全体で連携するよう促す。

シンポジウム HALL A：丸ビルホール 7F				ワークショップ HALL B：丸ビルコンファレンススクエア 8F			
3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)	3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)

ワークショップ° (HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア 8F)

3月6日(木)

9:00-9:50	CB-Tech の最前線 7th GIG: デジタル化・生成 AI・耐量子計算機暗号 powered by 日本銀行 須藤直 日本銀行 金融機構局 金融高度化センター長 高橋耕史 日本銀行 金融研究所経済ファイナンス研究課 経済研究グループ長 宇根正志 日本銀行金融研究所参事役 モデレーター： 尾島麻由実 日本銀行決済機構局企画役 概要：わが国の Central bank（CB）である日銀の最新のリサーチ成果を紹介するフラッシュトーク。第 7 弾の今回は、①デジタル化とわが国の金融、②期待の相互作用：生成 AI の労働市場への影響に関する期待と個人のマクロ経済見通しの関係について、③金融分野における耐量子計算機暗号への移行に向けた検討動向について、日銀の Tech リード達が解説します。	B160
10:00-11:00	AI エージェント開発の最前線と内製開発の推進体制 powered by GenerativeX 上田雄登 GenerativeX 取締役 / 共同創業者 モデレーター： 概要：	B170
11:10-12:10	金融機関の AI SaaS 導入の実際：その典型的な課題と成果を上げるコツとは powered by PKSHA 水野博隆 PKSHA Associates 代表取締役 川島慶一 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券ウェルス&ミドルマーケット本部リモート企画部長 井迫雄次郎 PKSHA Communication CS 事業本部ストラテジックセールス部 部長 村岡利彰 PKSHA Workplace Workplace ビジネス本部 Field Sales 部 モデレーター： 白子雅也 PKSHA Technology コーポレートマーケティング部 部長 概要：PKSHA Technology は、問い合わせ対応の自動化（人事・総務・情シスなど）、ノーコード RPA による DX 推進、コンタクトセンター業務改善など、複数の SaaS で企業の生産性向上を支援しています。これらの導入に伴う課題や工夫、その成果を具体的な事例を交えて解説し、実際に導入を行った企業のご登壇も予定しています。SaaS 活用の具体像を共有し、業務効率や競争力強化に繋げるヒントをお伝えします。	B180
12:20-12:50	金融と AI の未来 powered by Bridgewise 牛田遼介 金融庁総合政策局フィンテック参事官室チーフフィンテックオフィサー ドール・エリグラ Bridgewise 共同創業者兼最高ビジネス責任者 シェリル・リー SIX Group Financial Information Business Unit Country Head APAC and APAC Head of Global Operations モデレーター： 宮野尾誠 Bridgewise 日本代表 概要：日本の家計資産の増大と経済の活性化を図るため、日本政府は新 NISA 等の施策を通じて、貯蓄から投資への移行を促進しています。しかしながら、AI を活用した金融ツールの台頭は、偏見や公平性、透明性、説明可能性といった面において、正当な懸念を引き起こしています。本パネル討論会では、AI 搭載ツールがいかに投資戦略へのアクセスを可能にし、経験豊富な機関投資家と個人投資家の双方にデータに基づいた意思決定を促しているのかを探ります。議論は、この AI 主導の変革がもたらす課題と機会、具体的には規制上の考慮事項、倫理的な影響、そして AI 主導の世界における人間アドバイザーの役割の進化についても焦点を当てます。	B190
13:00-14:30	地域への資金循環は可能か？ ～地域を支えるフィンテックのあり方とは？～ powered by リーテックス 今井豪 HI-NEXU 代表取締役 CEO 犬飼知徳 中央大学ビジネススクール 教授 川上秀樹 リーテックス 取締役 向井純太郎 FUNDINNO 執行役員 CMO モデレーター：	B200

	小泉格リーテックス 執行役員 概要：「東京一極集中が進んでいる中、地方には、もう魅力あるビジネスは少ない。ビジネスがないなら、金融が付けれられないのは当然。衰退あるのみ。」本当にそうでしょうか？地域には、様々な魅力、様々なビジネスがあります。ビジネスの性質に応じた資金融通は可能ではないでしょうか？地域活力や地域経営の実情を踏まえた「継続」志向のファイナンスについて議論します。
14:40-15:20	ハルシネーションを防ぐ独自の RAG 技術から見る「POC で終わらせない生成 AI 活用」powered by Helpfeel 澤田智希Helpfeel 営業部 アカウントセールス 金融機関チーム マネージャー 概要：生成 AI を活用しろと言われていくつか導入検討したけど、ツールによる違いがわからない、3 回に 1 回ぐらい誤答が混ざってるなんてことはありませんか？このセッションでは、「なぜ生成 AI は嘘をつくのか」わかりやすく解説するとともに、おおもとの生成 AI のスペックは各社変わらない中、「RAG でどのような差がでるのか」、「RAG の延長上に AI エージェントはあるのか」等の技術的なテーマを議論し、最後に「金融機関にとって本当に事業貢献できる AI とは何か」という問いに答えていきます。
15:30-16:00	業歴 60 年の伝統システム事業会社の挑戦：ステーブルコイン決済インフラ開発への道 powered by JPYC 岡部典孝JPYC 代表取締役 鎌田啓之電算システム ビジネスデザイン企画推進本部長 共創エコシステム企画室長 杉原広隆電算システム クラウドエンジニアリング事業部 テクノロジーマネジメント部 部長 概要：長い業歴を背景に確かな実績を有するシステム事業会社が、最先端のブロックチェーン技術とステーブルコイン JPYC を駆使した決済サービスの開発に挑みます。ベンチャーの俊敏なスピードと、長い業歴から培った堅実な実装力の融合による、次世代決済インフラ構築に向けた挑戦を、熱い現場のリアルと実体験に基づき赤裸々にお届けします。
16:30-18:00	トークン型預金が拓く Web3 新時代 powered by DCJPY ネットワーク 前半 SBI グループ×DCJPY による Web3 金融イノベーション 周藤利明ディーカレット DCP 営業本部 営業開発グループ BZ (Digital Asset) チームヘッド 木村紀義SBI ホールディングス専務執行役員グループ CTO SBI ネオバンキングシステム代表取締役 高長徳SBINFT 代表取締役社長 モデレーター：山岡浩巳フューチャー 取締役 グループ CSO デジタル通貨フォーラム 座長 概要：Web3 の世界においては個人と個人がつながり様々な取引を行うため、その決済も同様に個人間で自動的になされるのが望ましいと考えられます。 Web3 における理想の決済手段として期待されるトークン化預金 DCJPY について、取引と決済を共に取り扱う総合金融グループである SBI グループの目から見た活用方法や期待をお話いただきます。また、Web3 の中心技術の一つとして位置づけられる NFT 領域に関して、SBINFT からもお話をいただきます。 後半 金融機関×DCJPY で加速する地方創生 3.0 ～Web3 技術活用で進める地域経済活性化～ 濱崎栄ディーカレット DCP 営業本部 営業開発グループ FZ チームヘッド 榎本裕己しずおかフィナンシャルグループ経営企画部 DX 戦略推進室 室長 静岡銀行経営企画部 DX 戦略推進グループ 担当部長 七海英喜ゆうちょ銀行デジタルサービス事業部 部長 ディーカレットホールディングス社外取締役（非常勤） モデレーター：山岡浩巳フューチャー 取締役 グループ CSO デジタル通貨フォーラム 座長 概要：現在政府において「地方創生 2.0」を掲げ「令和の日本列島改造」として多極分散型社会の構築を主要施策として位置付けており、実現手段の一つとして Web3 技術の活用についても言及されています。本日は、日本を支える金融の立場から、NFT やトークン化預金などの Web3 技術を活用して、様々な地域資源から付加価値を生み出し、経済活性化を目指すとする現場の試みとその先に見据える姿、地方創生 3.0 を語ります。

シンポジウム HALL A：丸ビルホール 7F				ワークショップ HALL B：丸ビルコンファレンススクエア 8F			
3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)	3月4日(火)	3月5日(水)	3月6日(木)	3月7日(金)

ワークショップ（HALL B：丸ビルコンファレンススクエア 8F）

3月7日（金）							
9:00-9:40	生成 AI の活用で新たな顧客価値の創造 ～ 革新的な CX を実現し、CS のプ ロフィットセンター化を図る金融企業事例をご紹介 ～ powered by RightTouch 野村修平 RightTouch 代表取締役 概要：近年、生成 AI の急速な進化により、金融業界は新たな転換期を迎えています。 これまでの業務効率化にとどまらず、AI を活用した顧客体験の再定義が求められ、企業の価値提供のあり方そのものが変 わろうとしています。 本セミナーでは、生成 AI を活用した次世代の金融サービスの可能性に焦点を当て、 カスタマーサポートの枠を超えた、企業と顧客の新しい関係構築について探ります。 従来のコストセンターというイメージから脱却し、収益を生み出すプロフィットセンターへと進化させるための戦略や、 未来の金融 CX の在り方を共に考えます。						B240
9:50-10:50	保険業界の OUTLOOK とレガシーモダナイゼーション最前線 powered by EY Japan② 長町浩史 日本マイクロソフト 金融サービス事業本部 保険・地域金融本部長 田中啓之 日本マイクロソフト クラウド&AI ソリューション事業本部 インテリジェントクラウド統括本部 Azure 第三本部 本部長 田口晃敏 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス ビジネスコンサルティング（保険セクター） ディレクター 木下大輔 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス テクノロジーコンサルティング ディレクター モデレーター：青木計憲 EY Japan 保険セクターリーダー EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 パートナー 概要：保険会社がレガシーモダナイゼーションに取り組む必要性と構想・計画・実行する上でのチャレンジ、モダナ イズ後に目指すべき将来の保険のオペレーションとアーキテクチャーの未来像、 そしてレガシーモダナイゼーションの在り方を変えていく生成 AI を活用したソリューションのトレンドなどを探り ます。						B250
12:45-13:25	国境を越えた資金移動の近代化： タイプ1のフィンテック・パートナーが競 争力を高める理由 powered by NIUM 瓶子昌泰 NIUM Japan 代表取締役 概要：企業がクロスボーダーモデルを採用するにつれ、効率的な決済ソリューションへの需要が高まっています。今 回、ニウムの瓶子昌泰が B2B 決済の展望を探り、ライセンスを持つフィンテック企業との提携の利点に焦点を当てま す。進化する日本の決済市場、フィンテックパートナーシップの利点、ニウムの競争力のあるソリューション、実際 のアプリケーションについて学び、国際決済業務を最適化することができるようになります。						B260
13:35-14:05	前メガバンク CFO×スタートアップ経営者～スタートアップへの出向・副業が もたらす実践知とマネタイズ力～ powered by GMS 米花哲也 Global Mobility Service 会長 中島徳至 Global Mobility Service 代表取締役社長 CEO モデレーター：高橋智志 インパクトサークル 代表取締役社長/CEO 概要：金融業界が大きく変化する中、銀行員には「お金を管理運用する力」だけでなく、「お金を生み出す視点」を持 つことが求められています。スタートアップでは、前例のない状況の中で収益を生み出す仕組みを構築し、事業を成 長させることが重要視されます。本セッションでは、前メガバンク CFO と金融包摂型 FinTech スタートアップの社 長が、銀行とスタートアップの違いを踏まえながら、「出向経験がもたらす視座の変革」と「マネタイズの実践知」に 焦点を当て、銀行の枠を超えた経験が次世代のリーダーにどのような成長をもたらすのかを探ります。						B270
14:15-14:45	デジタル証券、デジタル社債、投資型クラファンなどの直接金融のスキームと 事例～50社以上にプラットフォームを提供する実績をもとに解説～ powered by グローシップ・パートナーズ 松井晴彦 グローシップ・パートナーズ 代表取締役 オーナーシップ 代表取締役						B280

	概要：金融商品取引法や不動産特定事業法の整備により、資金需要者がインターネットを通じて資金提供者に直接つながるキャピタルマーケットが、確実に広がりを見せています。また、その出資持分をトークン化する動きも加速しています。当社が提供する「CrowdShip Funding」「OwnerShip」が実現する投資型クラウドファンディング、デジタル証券、デジタル社債の仕組みとその事例を紹介します。	
14:55-15:25	マイナンバーカード×デジタル ID——金融 DX における新たな活用シナリオ～ B290 powered by xID 日下光 xID 代表取締役 CEO 金山優也 SocioFuture ソリューション企画本部アシスタントマネージャー 概要：eKYC のためにマイナンバーカードを導入する銀行は増えていますが、その活用が限定的なのはもったいない！本セッションでは、金融 DX の視点から、銀行業務の効率化や新たな価値創出につながるマイナンバーカード活用法を具体的な事例とともに紹介します。	
15:35-16:05	Japan Open Chain presents「web3 を体験しよう」 B300 powered by G.U.テクノロジーズ 近藤秀和 Japan Open Chain ファウンダー G.U.Technologies 代表取締役 CTO 稲葉大明 Japan Open Chain ファウンダー G.U.Technologies 代表取締役 CEO 概要：Web3 を実際に体験できるワークショップです。参加者は、Web3 対応ブラウザ Lunascape をダウンロードし、QR コードを読み取るだけで G.U. Token Studio にアクセス可能。簡単な操作で無料 NFT を取得し、ブロックチェーン技術を直感的に理解できます。Web3 に興味のある方はもちろん、未体験の方にも最適な機会です。ぜひこのワークショップで、新しいデジタル体験をお楽しみください！	
16:55-17:25	世界で注目されるブロックチェーン Avalanche の日本の金融業界での取り組みと展望 B310 powered by Ava Labs 井上大悠 Ava Labs Japan BD/ソリューションアーキテクト 西川直杜 Ava Labs BD 中川剛 TIS フェロー 概要：SFF でも注目されたブロックチェーンアバランチの日本の金融業界での展望を、Ava Labs 日本メンバーが語ります。常日頃金融機関の皆様とブロックチェーンの活用方法を議論する中で見えてきた日本の金融インフラとしてのブロックチェーンの強みについて対談形式で掘り下げて行きます。	

セッション情報は 2025/03/06 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

日経 SUM 事務局